

## 「トヨタ環境活動助成プログラム」2019年度の助成対象を決定

トヨタ自動車(株)(以下、トヨタ)は、「トヨタ環境活動助成プログラム」の2019年度助成対象として26件のプロジェクトを決定しました。2000年のプログラム開始以来、20年間で累計413件、世界57の国と地域で、毎年総額1億円の助成を行っています。

このプログラムは、トヨタが1999年に「グローバル500賞<sup>\*1</sup>」を受賞したことを記念し開始したもので、2015年に発表した「トヨタ環境チャレンジ2050<sup>\*2</sup>」の「チャレンジ6」“人と自然が共生する未来づくりへのチャレンジ”の一環でもあります。



Hooded Grebe courtship. Gonzalo Ignazi, Aves Argentinas

パタゴニアプログラム  
「固有野生生物保護のための生息地の復元」



海ゴミと空き家、地域課題を教育資源に！  
—環境教育プログラム拡大プロジェクト—

助成対象テーマは「生物多様性」と「気候変動」として公募し、海外プロジェクト、国内プロジェクト、国内小規模プロジェクトの3つの助成枠において、合計89件の申請がありました。

選考にあたっては、実効性、協働性等を勘案し、1次選考、本選考を経て決定。「海外プロジェクト」は“パタゴニアプログラム「固有野生生物保護のための生息地の復元」”等11件、「国内プロジェクト」は“海ゴミと空き家、地域課題を教育資源に！—環境教育プログラム拡大プロジェクト—”等9件、「国内小規模プロジェクト」は“コガネグモの保全とクモ合戦大会を後世に伝承普及を図る”等6件が助成対象となりました。なお、12月3日には、本年度の採択プロジェクト代表者出席のもと、東京で助成決定証授与式を開催します。

トヨタでは今後もNPO等への各種支援を通じて、人と自然が共生する未来づくりに貢献していく方針です。

\*1 グローバル500賞(1987～2003年)

国連環境計画(UNEP)が環境の保護・改善に功績のあった個人または団体を表彰する制度。トヨタは世界初の量産型ハイブリッド車の発売等が評価され1999年に日本企業として初めて受賞しました。

\*2 トヨタ環境チャレンジ2050

トヨタは、持続可能な社会の実現に貢献するために、2050年に向けた新たなチャレンジとして、「トヨタ環境チャレンジ2050」を2015年10月に発表しました。「トヨタ環境チャレンジ2050」は、気候変動、水不足、資源枯渇、生物多様性の劣化といった地球環境問題に対応し、環境負荷を限りなくゼロに近づけるとともに、社会にプラスをもたらすことを目指して、「もっといいクルマ」、「もっといいモノづくり」、「いい町・いい社会」の3つの領域で6つのチャレンジを掲げています。

<https://global.toyota/jp/sustainability/esg/challenge2050/>

2019 年度助成対象プロジェクト

分類	テーマ	プロジェクト名称	実施団体	実施地域	
海外プロジェクト	生物多様性	持続的環境イノベーション 「KKFC 森林群 ローカル知・伝統知による未来創造 PJT」	一般社団法人 あきた地球環境会議	タイ	
		インドネシア東カリマンタン州における行政と住民が協働したオランウータンの保護活動	公益財団法人 国際緑化推進センター	インドネシア	
		インドネシア RSP0 認証に向けたヤシ廃棄物での有機肥料生産支援と農家への教育による環境保全	一般社団法人 コペルニク・ジャパン	インドネシア	
		インド・ブッダガヤの農村における児童・女性・行政との協働による実践的環境教育事業	公益社団法人 日本国際民間協力会	インド	
		ミャンマー少数民族地域における八角を中心としたアグロフォレストリーの普及活動	一般社団法人 裸足醫チャンプルー	ミャンマー	
		ミャンマー国ウトゥ村の“マングローブ”再生および周辺村への展開と環境普及啓発	ラムサールセンター	ミャンマー	
		パタゴニアプログラム「固有野生生物保護のための生息地の復元」	Aves Argentinas	アルゼンチン	
	気候変動	カンボジア王国世界文化遺産プレアビヒア・エコビレッジ地区美しい森づくり活動	特定非営利活動法人 アジアの誇り・プレアビヒア日本協会	カンボジア	
		ウズベキスタンにおけるサクサウル植林とニクジュヨウ栽培による砂漠緑化プロジェクト	公益財団法人オイスカ	ウズベキスタン	
		ブドウダ県 脆弱地域の農民、小学生が草の根レベルで実践する土壌保全とレジリエンス強化事業	特定非営利活動法人 道普請人	ウガンダ	
		ブルキナファソ・バム県における植栽による地域の住民生活の持続可能性への支援と啓発	特定非営利活動法人 緑のサヘル	ブルキナファソ	
	国内プロジェクト	生物多様性	都市公園の樹木調査と名札掛け事業・観察会を通して生物多様性等環境学習支援事業	特定非営利活動法人 すいた環境学習協会	日本
			四国における特別天然記念物コウノトリの野生復帰活動	特定非営利活動法人 とくしまコウノトリ基金	
どんぐりウォーカーの水源地、モリコロパーク、3.11 被災地でのどんぐりの森づくり			特定非営利活動法人 どんぐりモンゴリ		
海ゴミと空き家、地域課題を教育資源に！ -環境教育プログラム拡大プロジェクト-			誇れるふるさとネットワーク		
ハンザキの生きる清流を繋ぐ里山水辺の川づくりによる日本最大のオオサンショウウオ生息地再生			真庭遺産研究会		
サンバの繁殖再開を目標とした三浦半島の谷戸田再生活動			NPO 法人 三浦半島生物多様性保全		
海のプラスチック問題、瀬戸内海全域での漂着ゴミ調査。無人島佐島での漂着ゴミ拾い			一般社団法人 E.C オーシャンズ		
気候変動		地産地消エネルギーで二酸化炭素を減らし災害に負けない子どもを育てる	公益財団法人日本環境協会		
		ニホンザルはどこに？ 妙高笹ヶ峰に近年進出したニホンザルの暮らしを追う	公益財団法人 日本モンキーセンター		

国内小規模プロジェクト	生物多様性	コガネグモの保全とクモ合戦大会を後世に伝承普及を図る	始良市加治木町クモ合戦保存会	日本
		すぐに見えない里山の自然を体験して感じて学んで語ろう	特定非営利活動法人 アシストパルオオイタ	
		「環境教育×アウトドア」のコミュニケーションツールの制作を通じた「参加型環境保全観光」	淡路島ロングトレイル協会 設立推進委員会	
		希少種の育成環境保全&さくら公園里山づくりプロジェクト	ながの環境パートナーシップ会議	
		木津川におけるイタセンパラの復活を目指して	特定非営利活動法人 やましる里山の会	
		徳島県美波町での森林保全及び木材の活用を通じた次世代の人材育成プロジェクト	特定非営利活動法人 TOKUSHIMA 雪花菜工房	

プログラム詳細についてのお問い合わせ：トヨタ環境活動助成プログラム事務局

E-Mail : [tmc-ecogrant@g500.jp](mailto:tmc-ecogrant@g500.jp)

URL : (日) <https://global.toyota.jp/sustainability/esg/challenge2050/challenge6/ecogrant/>

(英) <https://global.toyota/en/sustainability/esg/challenge2050/challenge6/ecogrant/>

以 上